



柏ライオンズクラブ設立調査報告書

結成前夜

2024年3月13日

柏ライオンズクラブ調査委員会

結成前

1967

1980年代

1973 我孫子LC結成(中山徳保L)

1974 柏中央LC結成(小池茂三郎L)

1976 流山LC結成(上原好夫L)

1977 柏駅東口時計寄贈(片岡義一L)

1980 少年補導センター車寄贈(渋谷俊夫L)

1982 柏市福祉課ワゴン寄贈(芳野幸夫L)

1984~ 国際交流基金寄付4年連続

1989 市立柏高甲子園寄付(森下泰伴L)

※主なアクティビティ(カッコ内は当時の会長名)

柏ライオンズクラブの起源



柏LC設立の功労者

柏ライオンズクラブ(以下、LC)結成は、1966年5月21日だった。発起人の鈴木一男ライオン(以下、一男L)が、のちに親クラブとなる松戸LCに打診し、柏市ではじめてのLCとして誕生させた。

一方で柏LCの始まりは、不鮮明なところが多い。柏LC2023年~2024年会長の小林裕応Lは、設立60年を迎えようとする今、その歴史を紐解くことを決意。本冊子はその報告書であり、柏LCの起源を明らかにする一助とすべくまとめた。

調査に当たっては、当時をしる鈴木照夫L(以下、照夫L)へのインタビューと柏LC設立10周年記念誌並びに、当時の新聞「柏市民新聞」「柏新報」の報道を参照した。

「(略)故鈴木一男L(以下、一男L)ともども2週間で、56名ものメンバーからなるクラブを結成した(略)」。10周年記念誌で設立の功労者のひとり、寺嶋周三Lがそう振り返っている。

寺嶋Lは、のちに柏商工会議所会頭(名誉会頭)を務めた。その寺嶋Lから名前を挙げられた一男Lは、ニーニャモーナの経営者として辣腕を振るった経済人。ともに柏市議会議員として活躍し、旧知の間柄だった。ほかにも同僚議員の渡辺三城氏や小菅一雄氏、柏市民新聞社の関浦信一氏らが協力、柏LC設立に至った模様だ。しかし、一男Lは1970年8月17日、交通事故で亡くなったため、一男Lの柏LC設立に関する証言はほぼ存在しない。

1990 柏ライオネス結成（山田三郎L）

1992 柏さくらLC結成（貝塚正己L）

1994 阪神淡路大震災寄付（助川廣L）

1996～ ベトナム幼稚園2年連続

2000 台湾大地震寄付（石戸幸治L）

2007 ジャカランダ基金（萩原信一L）

2010 台湾台風寄付（青木良茂L）

2011～ 東日本大震災寄付

～鈴木一男Lの熱意と寺嶋周三Lのサポート～

柏LC設立の構想とその源泉

実弟の照夫Lによると、柏LC設立の背景を語るには、少し前に遡る必要がある。「人口増加がはじまるこれからの時代、世界と交流し、世界に通じる人間を育てなければ」。一男Lのこの言葉は、柏LC設立の1年以上前から口にしていたもの。第2期高度成長期を迎えるなか、一男Lはグローバル社会を予見し、人材育成に腐心していたという。

一男Lは学生時代から政治に関心を持ち、鳩山一郎氏の勉強会に参加。鳩山氏が掲げた理念「友愛」の同志とともにアジア周辺諸国を回遊した。

出身地松戸市の市長だった松本清氏の影響（すぐやる課の設立）もあり、「思い描くだけでなく、行動で示す。『世界目線の人間を育てなければ』と語っていた」と照夫L。



記念誌における一男Lに関する記述は、寺嶋Lのコメント以外に見当たらないが、「そもそも柏LC立ち上げを松戸LCに打診したのは兄だった。市川にも要請していて、地元で最初に頼ったのが盟友の周三さんだった」と照夫L。先見の明のある一男Lだったが、50人以上必要とされたチャーターメンバーを揃える課題を抱えていた。「そこで、周三さんと三城さんのご協力をお願いした」と照夫L。メンバー56人を3人で集めたようだ。

構想を支えた力

照夫Lによると、一男LがはじめてLC（当時はLCに該当するような国際的組織）のことを口にしながら、設立5年前の26歳のとき、市議会議員に初当選してから。寺嶋Lと出会い、2人で日本のグローバル化について熱く語り合ったという。

後押ししたのは、当時県議会議員だった倉田寛之氏（参議院議長を歴任）だったようだ。「政治を通じてできた仲間と地元の経営者仲間ができて、『これから人口40万人を超える時代が来る』と言って、組織づくりを訴えていたね」と照夫氏。

資料に残る功績 紡がれる精神

一男Lは柏LC設立から4年後、不慮の事故で死去した。柏新報では「夢を追う若者」との見出しで、「鈴木氏の優れたアイデアは柏市にライオンズクラブを生んだ」とし、その功績を称えている。柏市民新聞には、「あなたとしての正義と理想を追って（中略）ライオンズクラブの活動に参加したものと思います」との同僚網正雄議員の哀悼の言葉が綴られていた。

「一男が大切にしていた『困っている人を助ける』LCの理念は今も守られている」と照夫L。柏LCはのちに、一男Lの構想と熱意を継承し、「We Serve」の精神の下、最優秀クラブとして表彰された。

現代のライオンもまた、崇高な理念を次代へと継承していく過渡期にある。今調査を終えて小林会長は、「草創期を回顧し、襟を正してその精神を守っていく所存だ」と話した。

L字の誇り いま再びの 雄叫びを

We Serve

ライオンズクラブ国際協会333-C地区 3R 1Z

柏ライオンズクラブ 第58代クラブメンバー

会長 小林 裕 応 第1副会長 山田 敬 助 幹事 田口 仁 会計 渡 邊 讓

秋山 浩保	浅野 竜哉	荒井 真彦	石坂 彰宏	伊藤 恭一	宇佐見治雄
大本 佳宜	小澤 隆	後藤慎次郎	小林 裕 応	斎藤 元司	下村 法之
鈴木 照夫	仙田 秀一	田口 仁	武井美恵子	竹内 弘幸	竹澤 禎浩
武田 泰道	中野 愛彦	仲村 忠則	永岡 紀子	根本 和雄	萩原 信一
花島 秀行	星野 正英	牧野 弘明	増谷 弘美	丸山 了右	望月 聡
山澤 啓伸	山田 敬助	吉田 真	ロイス・マーク	渡邊 讓	

事務局 舟生 尚美